

学校名	南会津町立荒海中学校	校長	古川 一博
住所	南会津郡南会津町糸沢字馬場原446-15		
TEL	0241-66-2321	ホームページアドレス	http://www.minamiaizu.gr.fks.ed.jp/?page_id=95

チ ャ ム 荒 海

～ “不易と流行” を取り入れた 心をつなぐ学校づくりをめざして～

取組の概要と内容

本校では、生徒一人一人が自分の将来や夢を実現する力を身につけるために、周りの人々との関わりを大切にしながら、心豊かにたくましく成長してほしいとの願いを込め、日々の教育活動に取り組んでいます。

「ななもりの心」が育む荒海中生

校舎の窓から見える、通称「らくだ山」の斜面に約40m四方の巨大な「心」という草文字が刻み込まれています。これは、昭和53年に旧田島町の生徒指導研究推進校の指定を受けたことを契機に、当時のPTAの方々と共に作成しました。

この草文字が意味する心の在り方が「ななもりの心」です。「ななもりの心」は、らくだ山に「心」を刻み始めてから10年後に“保護者の願い”“教師の願い”“子どもの願い”を結集し、1年がかりで作り上げた荒海中生の心の具体像です。

「人間教育の根幹は心の教育」の理念のもと、「心」の草文字とともに「ななもりの心」は、不易の象徴として、現在も荒海中生の心の支えとなり脈々と息づいています。



〈「心」の草文字〉

ななもりの心

◇にっこり「おはよう」心をこめて「ありがとう」素直に「はい」やさしく「お先に」	人にあたたか さわやかな心
◇「私がやります」「進んでします」	いい汗流して働き らくだ山走る活力の心
◇やる時は「本気で」つらいことも「がまん」	けじめをつけて 最後まで成し遂げる心
◇「これでよいか」と自らに問い「もっと別に」と考え	明日を拓こうと努める心
◇「美しい」荒海の大自然「もったいない」身のまわりのもの	もののいのちを大切にする心

地域と共に育つ荒海中生



〈書道の授業〉

地域との連携による「共育」は、本校教育活動の重要な柱です。様々な教育活動において、生徒の学びを支援する地域人材の活用を図っています。特に、書道の授業には生徒も意欲的で、毎年格段に腕をあげています。昨年度は福島県たなばた展において最高学校賞、そして今年度は優秀学校賞の栄誉に輝きました。

また、生徒が地区の家庭を巡回し、古新聞やビン、缶などを集める資源物回収、地域の公共施設を清掃するボランティア活動など、地域貢献を目指した活動を行っています。これら生徒の活動を毎日多くの地域の方々が、温かく見守ってくれています。

小中・中高が連携して育つ荒海中生

本校には荒海小学校の児童のほとんどが入学します。その特性を生かし情報交換を積極的に行い目指す生徒像を小中学校で共有しています。中学生が小学生を引率し、地域の緊急避難の家にあいさつ回りをしながら、通学路の危険箇所等を確認する活動や中学校で行う声楽コンサートを小学生と一緒に鑑賞する活動などを行っています。

また、田島地区連携型中高一貫教育として、田島高等学校の先生方による数学科、英語科のT・T指導や中高合同の演劇鑑賞などの高校と連携した活動を日常的に行うことを通し、生徒一人一人が自分の将来に夢や見通しをもてるように支援しています。

荒海中学校では現在、「ななもりの心」を土台にした小中高連携のキャリア教育、地域に密着した教育活動を通じた環境教育等に力を注ぎ、新たな伝統の創造に教職員、生徒、保護者そして地域の方々と一丸となってチャレンジしています。



〈緊急避難の家への訪問〉